



平成29年度

避難行動要支援者対策

～災害弱者をつくらない～

東日本大震災では、死者の約6割が65歳以上で、障がい者の死亡率は住民全体の死亡率の約2倍にのぼりました。高齢者や障がい者の方々等は、避難時に健常者に比べて特別な対応が必要な場合が多く、また、避難生活においてもより大きな困難を伴うことがあるなど、早急な対策が求められています。

このような状況の中、この研修では、避難行動要支援者※が、災害発生時に無事に避難できるよう、また、避難生活において、それぞれのニーズに応じた生活が送れるよう、市町村等職員がどのような対策を行っていくべきか考えます。

※「避難行動要支援者」・・・要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者）のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの。

研修のポイント

- 1 避難行動要支援者の災害発生時の安全な避難について考える。
- 2 避難行動要支援者の避難生活について考える。

開催要領

日程

平成30年1月29日(月)～1月31日(水) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

避難行動要支援者に関わる市町村や社会福祉協議会、NPO等職員の皆様

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください（各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。）。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成29年12月12日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成30年

1月

29日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～ 15:35 **講義 避難行動要支援者をめぐる法制度～自治体の役割と課題～**
 関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一氏
 【概要】避難行動要支援者をめぐる法制度(改正災害対策基本法や改正水防法等)について学び、災害時の避難行動要支援者の安全な避難のための自治体の役割や課題について考えます。
- 15:50～ 17:00 **課題演習 班別討議**
 【概要】小グループに分かれて、避難行動要支援者対策におけるそれぞれの団体での課題について意見交換を行います。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

1月

30日(火)

- 9:25～ 10:35 **事例紹介 地域を巻き込んだ支援体制の構築**
 大分県別府市共創戦略室防災危機管理課防災推進専門員 村野 淳子氏
 【概要】災害時に避難行動要支援者を安全に避難させるために最も重要である、「地域との連携」の取組について、別府市の事例をお話しいたします。また、この取組を踏まえて進められる個別支援計画のモデルづくりについてもお話しいたします。
- 10:50～ 12:00 **事例紹介 要配慮者利用施設での避難確保計画**
 社会福祉法人さざなみ会業務執行理事 三谷 新治氏
 【概要】2017年8月の台風5号による姉川(滋賀県)氾濫時に、姉川近くにある特別養護老人ホーム「姉川の里」では、事前準備により、入所者約40名を無事避難させられました。しかし、この実際の避難行動により、多くの課題が発見され、今後の災害に向けて避難確保計画等を改善してまいります。この時間は、実際の災害にもとづく教訓を、実体験からお話しいたします。
- 13:00～ 14:10 **事例紹介 避難行動要支援者の避難～個別計画作成～**
 神戸市
 神戸市魚崎町防災福祉コミュニティ会長 清原 孝重氏
 【概要】1995年の阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた神戸市では、住民と行政が一緒になって避難行動要支援者の個別計画作成を進めてまいります。この時間は、特に取組が進んでいる東灘区の取組について、住民側、行政側の双方からお話しいたします。
- 14:25～ 15:35 **事例紹介 福祉避難所**
 市立輪島病院事務部参事 河崎 国幸氏
 【概要】2007年の能登半島地震で、全国初の福祉避難所を設置された輪島市では、その後、マニュアルを作成し、毎年訓練を重ねるなど、取組を進めておられ、この福祉避難所のノウハウは、中越沖地震や東日本大震災の際に生かされています。この時間は、福祉避難所設置のノウハウや課題等、実体験を踏まえてお話しいたします。
- 15:50～ 17:00 **課題演習 班別討議**
 認定特定非営利活動法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード
 【概要】小グループに分かれて、避難行動要支援者対策における具体的な課題と、その解決策等を検討していただきます。

平成30年

1月

31日(水)

- 9:25～ 14:10 **課題演習 発表・講評・まとめ**
 認定特定非営利活動法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード
 【概要】前日までに班で討議した内容を踏まえ、ワークショップ方式でさらに検討を深めます。最後に講師から講評をいただき、3日間のまとめとします。
- 14:10～ 14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。